

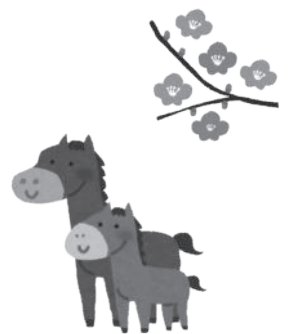
さいたま市障害者協議会会報

第32号

# あ・うん

## ～新年団体交流会を開催しました～

令和8年1月13日(火) 大宮パレスホテルクラウンレストラン

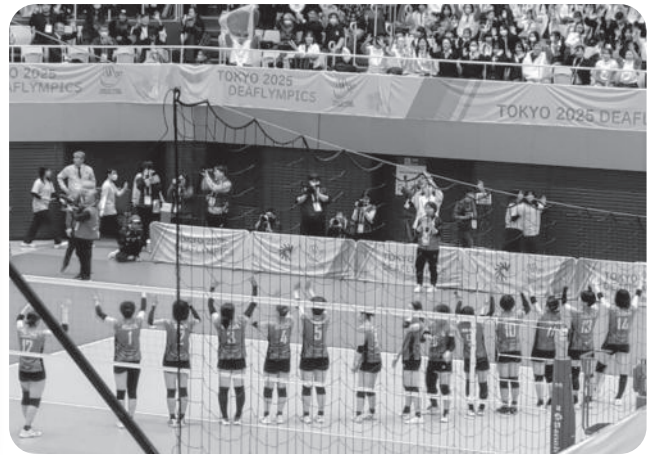


今年も加盟団体の横のつながりを大切に、協議会の発信力を生かして、障害の理解を深める活動に邁進してまいりたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



# スポーツの祭典～

## TOKYO 2025 デフリンピック 25<sup>TH</sup> SUMMER DEAFLYMPICS



### 「デフリンピック応援」

さいたま市聴覚障害者協会

横島 美智子

デフリンピックとは、「デフ・耳が聞こえない・聞こえにくい人」のための国際スポーツ大会です。十一月十五日から二十六日の十二日間、東京二〇二五デフリンピックは百周年の記念すべき大会を開催できたことは喜ばしいことです。

オリンピック・パラリンピックと違って、知名度が十一・二%と低いです。パラリンピックの知名度は九十八%で、テレビや新聞に取り上げられています。デフリンピックは、ほぼYouTubeでのライブ配信で見られない状況です。無料で観戦できるのが魅力ですが、運営の方は大丈夫かなと気になるようです。

ルールは、目でわかる様々な工夫がされています。私は福島でサッカー観戦、東京でバレーボール観戦をしました。感動したのは、福島でブルーインパルスを見られたことです。

応援も「サインエール」と言って手話ベースの動きで、目でわかる応援です。まさに新しい応援、観客も選手も一体となって盛り上がった雰囲気が高かったです。



サッカー会場：福島Jヴィレッジ

### ＜サインエール＞



両手をひらひらとさせて

手を開いたまま両手の指先を前方に向けます

「行け！」

### 『国際手話』

手話は世界共通ではなく、話し言葉と同じで国や地域によって異なります。異なる手話同士のコミュニケーションはとて難しく、国際交流の場では手話の共通語である「国際手話」が使われています。

国際手話は、聴覚障害者の国際的なスポーツ大会であるデフリンピックやオリンピック・パラリンピックでも活用されています。

(東京都保健局「話そう手のこと」より出典)

### 『手話教室』

さいたま市聴覚障害者協会では、毎年社会参加推進事業の生活訓練事業として、手話教室を開催しています。

「入門」と「初級」に分け、全十回ずつ行い、参加者は難聴者・中途失聴者・家族のための手話教室です。学習会は、音声情報を文字にしたスクリーン投影(要約筆記)で行い、文章が投影されてから次に進めます。参加者が文字で情報をつかみ、手話を見て学習を進めるといふ流れです。

習得は難しいですが、手話を学ぶことでスムーズなコミュニケーションを図ることができます。

# ～障害者スポ



さいたま市選手団の皆さん

## 湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ2025

全国障害者スポーツ大会は、平成十二年まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合したものです。

宮城県で第一回大会が開催されました。以後、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックのように、国体（令和六年度からは国民体育大会（国体）が国民スポーツ大会（国スポ）と名称が変更されます。）終了後に三日間（青森大会は四日を予定）の会期で毎年開催されています。二十四回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ二〇二五」には選手二十二名、役員二十五名が参加しました。一年ぶりにボッチャについても派遣を行うことができました。

初出場選手が十一人と半数を占める中、どの選手もベストをつくし、計十八個のメダルを獲得いたしました。

滋賀大会でも、全競技ユニチューブ配信が行われ、現地に来られない方からも応援いただきました。ありがとうございました。

（市HPより）



### 第二十四回

## 全国障害者スポーツ大会が行われました

さいたま市障害者協議会

稲葉 晃

去る二〇二五年十月二十五日（土）～十月二十七日（月）「わたSHIGA輝く障スポ二〇二五」と題し「全国障害者スポーツ大会」が行われました。大会は滋賀で行われ、さいたま市選手団は行き、帰り、公式練習も含め、二十三日（木）～二十八日（火）の日程で行ってきました。私も障害者協議会から送り出していただき、団長として随行してきました。

第一回目の説明会では、初めて選手の方や役員の方とお会いしとても緊張しました。そして第一回練習会、第二～三回は合宿での練習会、そして第四回練習会と行われました。

私にとって最初の壁は、私自身も障害があり、ちょっとコミュニケーション部分もあり、選手やコーチの方に話しかけられない、どう入って行っているかわからないということでした。でも合宿や練習会を重ね、それこそ、直前の練習会や大会が始まってから何とか話せるようになり、選手の方に「頑張ってください」とエールを送れるくらいには

なりました。

そして大会が行われ、結果は金六個、銀五個、銅七個、計十八個のメダル獲得でした。競技は前日練習も含め四日間ですべて回りましたが、特に陸上の方と行動を共にする場面が多く、だいぶ話せるようになりました。それぞれの競技、それぞれの選手にドラマがあり、力をしっかり発揮できた方も、また残念な結果になってしまった方もいらつしやると思いますが、皆さん素晴らしかったです。また来年もチャンスがあれば青森で皆さんにお会いしたいなと思いました。



ボランティアの皆さん

令和7年度 さいたま市障害者協議会視察研修

上野動物園へ行ってきました！

来年から埼玉県の貸切バス「おおぞら号」が廃止になることもあり、今後の研修をどうするかも含め、公共交通機関を使つての研修になりました。

大宮駅東口は私の最寄り駅で、よく利用しているのですが、エレベーターの位置などは把握していないことに気づきました。

改めて探してみると、大宮駅東口（南）という場所にありました。車椅子がやっと通れるくらいの幅しかありません。東武アーバンパークラインからは、ここまでの移動になります。屋根はありますが、雨天の場合は大変だろうと思いました。

上野駅の公園改札口を出ると驚きました。私が知っている以前の改札口（当時は「公園口」）は出るとすぐに車道があつて、信号を待つて横断歩道を渡つたのですが、今は車道がなくなり真つすぐに上野動物園まで行くことができます。

上野動物園は東園と西園に分かれていて、以前はモノレールで移動できましたが、今は「いそつぷ橋」でつながっています。登り下りの橋なので、車椅子の人は大変かと思いますが、途中

にエレベーターがありシャトルバスに乗つて移動もできます。

五十年前に日中友好のために上野動物園に初めてきたパンダはランランとカンカン。今は、シャオシャオとレイレイが暮らしています。パンダ舎への行列の場所は足元が不安定で、車椅子はもちろんのこと視覚障害の方などにも配慮が必要だと思ひました。

いつもと違う目線で探索すると、いろいろな課題が見つかるものですね。

障害者（児）の生活と権利を守る

さいたま市民の会

大澤 明子



返還前にパンダと会うことが出来ました！

編集後記

早いもので私にとつての障害者協議会の研修会は今回で三回目となりました。

毎回感じることは、時のながれはやく新しい物事に迅速に対応が必要だということ、また今まで見ていた方向とは違う見方が必要だということ。都度新しい発見があり、それを感じずにはいられません。

研修会については、次年度以降も県のバスの使用はなく、障害者にとつて移動手段が大変になるかもしれませんが、それも踏まえて新しい発見、経験が出来るような研修場所、方法を考えて続けていきたいと思ひます。何処か良い候補があれば教えてください。

(F・M)

さいたま市障害者協議会  
会報あ・うん第32号  
発行 さいたま市障害者協議会  
会長 中野 勇  
編集 さいたま市障害者協議会広報委員会  
〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-213-1  
大宮ふれあい福祉センター 4階  
TEL 048-653-7271  
FAX 048-653-7341  
<https://www.saitama-planet.com/>  
e-mail [saitamacity-handynet@bz03.plala.or.jp](mailto:saitamacity-handynet@bz03.plala.or.jp)

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。